

船舶事故調査報告書

平成21年9月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘
委員 楠 木 行 雄
委員 横 山 鐵 男（部会長）
委員 山 本 哲 也
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年11月1日（土）11時50分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、熊本県宇城市戸馳島灯台から真方位099°3,300m付近（概位 北緯32°34.3′ 東経130°31.4′）であった。）
事故調査の経過	平成20年11月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 白陽丸、1.2トン 293-15808熊本、個人所有 6.65m(Lr)×1.75m×0.93m、FRP ディーゼル機関、29kW、進水年月日不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 56歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成14年5月27日 免許証交付日 平成18年9月26日 (平成24年5月26日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年11月1日09時00分ごろ、船長1人が乗り組み、魚釣りの目的で熊本県鏡町大鞆漁港を出港した。11時50分ごろ、熊本県宇城市戸馳島灯台東方沖で、付近を航行中の漁船が、機関を中立として無人で漂流している本船を発見して118番通報を行った。13時15分ごろ、捜索を行った海上保安庁が船長の遺体を発見し、その後、船長は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風速 1m/s 海象：平穏
その他の事項	本船は船長の釣りに友達の所有船で、船長は、仕事が休みで天気の良いときに、魚釣りの目的で本船を借用していた。 船長は日ごろ、体調不良を訴えてはいなかった。 本船には救命胴衣が5個備えられていたが、発見時、船長は救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 死因は溺死であった。 船長は救命胴衣を着用していなかった。 船長が溺死に至ったのは、落水したことによる可能性があると考えられる。 船長が落水したことについては、その理由を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が熊本県宇城市戸馳島灯台東方沖において漂泊中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	